

第5回鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）策定委員会 議事要旨

日 時：令和3年2月16日（火）

10:00～11:00

場 所：鳥取市役所本庁舎6階第5～8会議室

□配布資料

鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）策定委員会次第

資料1 鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）策定委員会名簿、配席表

資料2 鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）（案）

資料3 パブリックコメント結果について

資料4 ご意見・ご提案への対応について（第4回策定委員会）

参考 鳥取駅周辺再生基本構想（平成23年度～令和2年度）

参考 第4回鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）策定委員会議事要旨

□次第

1. 開会

2. 委員長あいさつ

ア. 鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）策定委員会設置要綱第9条に基づき、本委員会は公開のもと進めることで合意した。

3. 報告・協議事項

ア. 事務局より、資料2、3及び4に基づき、鳥取駅周辺再生基本構想（第2期）（案）パブリックコメント結果、第4回策定委員会におけるご意見・ご提案への対応について説明。

委員長：事務局より、パブリックコメントと第4回策定委員会におけるご意見等への対応について説明された。委員よりご意見、ご質問等を頂きたい。

委員：観光等に関して文言を加えていただき、良い方向に向かったと思っている。感謝申し上げる。

委員：本構想案は完成形に近いもので、感想に近いものになるが、意見を言わせていただきたい。前期の鳥取駅周辺再生基本構想（平成23年度～令和2年度）（以下、「第1期構想」という。）の中で、達成したもの、達成されなかったものが整理されているが、これを引き継ぐ第2期構想は、主にハード面、関係者間での調整等が上手くいかず、第1期構想において達成されなかった難しい課題が残っている。このため、規制緩和や特区についても記載する必要があるのではないかと感じている。コロナ禍を踏まえた規制緩和に関する全国様々な事例も見られるので、これらも参考にしてほしい。また、歩いて楽しいまちという考え方はよく理解できる。鳥取駅周辺は、駅前からアーケードが長く繋がっているため、雪や雨の日でも濡れずに歩いて回ることができる。今あるこうした資源を最大限に活用していくことが重要であると思う。これに加えて、歩いて楽しいまちづくりに向けては、拠点が重要であると考えている。鳥取駅周辺は、鳥取民藝の拠点であり、またバ

スターミナル等様々な拠点があるが、これに加えて新たな拠点のひとつとして、例えば基本理念である「OACIS(オアシス)」のイメージに関連付けて足湯を整備するなど、広場にスポット的な拠点を設けることも考えていただきたい。広場は活用してこそ意味があり、活用に向けた新たな拠点づくりを検討したうえで、歩いて楽しいまちになるよう検討していただきたい。最後に、本構想案には、駅南側に関する記述は少ないのではないかと感じる。明確なイメージを描くことは難しいが、「駅南北の回遊性を高める」というキーワードは明記しても良いのではないか。日常的に市民に発信していくことが大事である。「OACIS(オアシス)」は市民に理解してもらえたら良い街になる。イメージは出来上がっており、それを達成するために文言等を調整してはどうか。

委員長：規制緩和やバスターミナル等を含めた拠点について意見を頂いた。バスターミナルについては、これまでの策定委員会の中で事業者の方から頂いた意見を踏まえると本構想で議論することは難しいかと思う。その他にはアーケードの活用や「OACIS(オアシス)」のイメージの活用など、既に盛り込んでいる内容もあるかと思うが、事務局としてどうか。

事務局：本構想案は既にパブリックコメントを通じて市民に意見を伺った段階であるため、ご提案内容をご意見として承りたい。規制緩和や特区については、容積率と同様に、具体的なものがないと推進することが難しいと考える。考えは十分理解できるが、立地適正化計画や都市再生整備計画等において別途検討し推進していく事項であり、本構想において記載することは難しいと考える。また、「OACIS(オアシス)」についてのご意見については、本構想のイメージパスと同様に広く活用し、イメージの共有を図りたいと考えている。

委員長：規制緩和という点で言えば、道路上でのオープンカフェの様子はイメージパスの中でも描かれている。特区については、上位計画の都市計画マスタープラン等において位置づけた上で行う事業であると認識している。委員の指摘の点を踏まえながら、また、駅周辺の区画整理事業等からも時間が経っていることなども考えながら、まちづくりを進めていく必要があるという課題認識としては重要であると考えている。

委員：前回の策定委員会の意見を踏まえた本構想案がほぼ完成形であることは認識している。また、駅周辺には日常的、恒常的に来訪してもらいたいということが重要であると考えている。このため、広場の中などにポイント的に拠点を設けることが必要ではないかと思う。構想案のイメージ図にもいくつか描かれているが、日常的に賑わいを生む仕掛けが重要であると考えている。

委員長：委員より指摘のあった、日常的に賑わいをつくるのがまさに「人が集い交流し魅力あふれる街」のコンセプトとなっていると思う。ご意見はよく理解できる。

事務局：「日常的」というキーワードについては、委員長のご指摘のとおり、推進していくことを想定している。新年度予算において、日常的に賑わいをつくる社会実験に係る予算計上を行っており、取り組みを進めていきたいと考えている。

委員長：先導事業において具体的な記載はないものの、コンセプトに基づいて取り組んでいくということで理解した。

委員：パブリックコメントの中で、電子カードの利用と、駐車場についてご意見を頂いている。現状と今後の方向性等を報告させていただく。電子カードについては、鳥取駅では現在利用できないことから、今後は利用エリアの拡大をしていく必要があると考えているが、費用もかかることから今後の課題としたい。また、鉄道だけでなく、バスやタクシー等でも利用できるよう、電子決済を広く利用できるような検討も必要だと考えている。駐車場については、無料駐車場を求めておられるのか、通勤通学等パークアンドライドの用途としてなのかわからないが、現状特急列車を長距離で利用される方のための無料駐車場が備えられている。交通事業者の立場としては、自家用車のほか、公共交通を利用して駅に訪れたいただくことも重要であると思う。こうしたことも踏まえ、今後の課題として取り組まなければならないと考えている。

委員：本策定委員会においても、以前よりバスターミナルが木の影になって見えないことを申し上げてきたが、このところ、駅からの見通しが良くバスがよく見えるようになってきている。利用者からは明るく、安心して歩ける、歩きやすく人の賑わいがあるとの声も頂く。また、案内が見つけにくいなどの指摘もあり、県、市と事業者とで新たに案内看板の設置を検討している。安心して人が集まれるために、見通しをよく、自動車と人とが交錯せず安全に歩けるようなことが重要である。木の手入れひとつで人が歩き回れるまちになる。引き続き人が安心して集まりやすくなるまちにしていだければと思う。

委員長：案内サインの整備が個別事業に位置づけられている。木の手入れひとつで現状が大きく変わる。今あるものを工夫することで利便性が高まるという事例であったと思う。その他ご意見はどうか。意見が出尽くしたようだが、会場の委員は、本案を最終案として承認することでよいか。

(会場より、異議なしとの声あり)

委員長：字句等の修正は事務局預けとする。オンラインで参加されている委員からのご意見はどうか。

委員：構想案は、これまで議論してきた内容を反映していると認識している。本日議論された、日常的、恒常的な賑わいという方向性についても同意できた。また、本策定委員会を通じてコロナ禍の中で様々な課題が見えたと感じている。

委員：本構想案は、エリアの方々が自分のこととして捉えていただける形になったと思う。第1期構想でどのようなことが障壁となったのかは分からないが、プレイヤーがひとつのビジョンを持って集まる場があると進むことも多いのではないかなと思う。策定後も様々な方にこの内容を理解していただけるよう、引き続き努力することが重要であると考えている。

委員：本構想案についての意見はない。バスターミナルのあり方については、本策定委員会においても様々な意見を頂いたが、今自身が課題だと思っているのは、ユニ

バーサルデザインにどう対応するかである。どこまで対応すべきかなど、今後も機会があればご意見を頂きたい。

委員長：オンラインの出席者は、本案を最終案として承認することでよいか。

(オンライン出席者より、異議なしとの声あり)

委員長：以上を踏まえ、本策定委員会としては、本案を最終案として承認する。

4. その他

ア. 事務局より、今後のスケジュールについて説明。

5. 閉会

(以 上)